

○歯科保存学 1 : 528-3-DP3・DP4・DP6

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修目標 (G I O) と単位数	<p>単位数：9単位</p> <p>G I O：歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	<p>1. 保存総論（平常試験を1回実施し、追再試は行わない）。</p> <p>2. 保存修復学（平常試験を4回（前期2回、後期2回）実施し、成績評価の60%とする。再試験は行わない。実習は、実習作製物の評価（60%）、実習ポスト試験成績（10%）、実技試験（10%）および実習口頭試問（2回実施、20%）を総合的に評価し成績評価の40%とする。原則的に再試験は行わない。</p> <p>3. 歯内療法学（平常試験4回、実習）の総合評価とする。平常試験は、原則的に再試験は行わない。</p> <p>4. 歯周治療学（平常試験2回、実習実技試験1回実施）の総合評価とする。平常試験は、原則的に再試験は行わない。</p> <p>4. 1/5以上欠席した場合、評価点は0～60点とする。</p>

保存学総論

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	<p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応性、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域を学ぶ。</p>
担当教員	岡田 裕之、玉村 亮、河野 哲朗、*齋藤 真規、*松島 潔、*小方 頼昌、*小見山 道
教科書	2年次に使用した、組織学、細菌学、生化学、生理学の教科書 臨床歯周病学 吉江弘正ほか 医歯薬出版
実習器材	なし
評価方法 (E V)	平常試験を1回実施する。原則として追再試は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	保存治療を行う上で、2年次で学んだ基礎が将来役立つと考えられることから、復習のために、保存学総論講義を行う。したがって不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/04 (木) 4時限 14:50～16:20	総論講義①：歯・歯髄・歯周組織の構造・機能	<p>【授業の一般目標】 歯の治療ができるようになるため、象牙質・歯髄の発生・構造・機能について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①象牙質・歯髄の構造と機能について説明できる。 2. ②象牙質・歯髄の発生について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：象牙質・歯髄の発生と組織構造について 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布プリントと教科書を照らし合わせて熟読しまとめること 事後学修時間：30分</p>	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/04 (木) 4時限 14:50～16:20	総論講義①：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	玉村 亮
2019/04/11 (木) 4時限 14:50～16:20	総論講義②：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能	<p>【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、エナメル質、歯槽骨および歯根膜の構造について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の構造について説明できる。 2. 歯槽骨と歯根膜の構造について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：2年次「組織・発生学」の教科書「カラーアトラス 口腔組織発生学（第4版）」（わかば出版）P.57-86を熟読すること。 ・事前学習時間：60分 ・事後学習項目：授業時配布のプリントと教科書を用いたレビュー ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p>	河野 哲朗
2019/04/18 (木) 3時限 13:10～14:40	総論講義③：う蝕 の細菌学	<p>【授業の一般目標】 う蝕に関与する微生物とう蝕発症機序について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕原性細菌の種類と性状を説明できる。 2. う蝕の発症メカニズムを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：う蝕原性細菌について2年次の範囲を復習しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態</p>	*齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/18 (木) 3時限 13:10~14:40	総論講義③：う蝕の細菌学	<p>1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物 c 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p>	*齋藤 真規
2019/04/19 (金) 3時限 13:10~14:40	総論講義④：痛みの伝達	<p>【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの特性や酒類、伝導、伝達様式を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯髄、歯周組織の神経支配、各種神経線維、痛覚の伝導、伝達様式、疼痛閾値 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯髄、歯周組織の神経支配、各種神経線維、痛覚の伝導、伝達様式、疼痛閾値 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：事前学修項目について行う。 講義は301教室で行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 d 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 a 侵害受容性疼痛 b 神経障害性疼痛 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 ⑧神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。 ⑨シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明できる。</p>	*小見山 道
2019/04/25 (木) 3時限 13:10~14:40	総論講義⑤：口腔粘膜と唾液腺	<p>【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、口腔粘膜および唾液腺の構造について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜の基本的な構造について説明できる。 2. 口腔粘膜の機能的分類と特徴について説明できる。 3. 唾液腺の種類と構造を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造について 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布プリントと教科書を照らし合わせて熟読しまとめること 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、プリント配布 パワーポイント講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/25 (木) 3時限 13:10～14:40	総論講義⑤：口腔 粘膜と唾液腺	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 ③腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。</p>	岡田 裕之
2019/05/09 (木) 4時限 14:50～16:20	総論講義⑥：歯周 病の細菌学	<p>【授業の一般目標】 歯周病の特徴とそれに関与する微生物を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病原細菌の特徴を説明できる。 2. 各種歯周病に関連する微生物を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周病原細菌について2年次の範囲を復習しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p>	*齋藤 真規
2019/05/10 (金) 4時限 14:50～16:20	総論講義⑦：感染 と免疫機構 骨代 謝 歯周病と全身 疾患	<p>【授業の一般目標】 生体防御機構を説明できる。 骨形成と骨吸収の関係を理解する。 歯周病と全身疾患の関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 免疫機構の概要を説明できる。 3. 免疫担当細胞の機能と連携を説明できる。 4. 骨のリモデリングと全身および局所因子による調節機構を説明できる。 5. 歯周病と全身疾患の関係を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：免疫担当細胞の種類と働きを予習する。骨代謝の全身および局所因子を予習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	*小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/10 (金) 4時限 14:50～16:20	総論講義⑦：感染と免疫機構 骨代謝 歯周病と全身疾患	歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 j 歯周疾患と健康の関わり 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*小方 頼昌
2019/05/23 (木) 3時限 13:10～14:40	総論講義⑧：歯髄の痛みの伝達	【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの伝達を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 d 口腔・顔面領域の疼痛 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 a 侵害受容性疼痛 b 神経障害性疼痛 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*松島 潔
2019/05/31 (金) 3時限 13:10～14:40	平常試験（総論1）： 総論講義①～⑧の範囲、解説講義	【授業の一般目標】 歯科の2大疾患疾患であるう蝕と歯周炎の治療を行うために、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の目的を修得し、基礎教科との関連性を学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 保存学の基礎となる解剖、組織、細菌学を復習し、理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。（目安時間 90分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、筆記（記述式）試験 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症 【国家試験出題基準（副）】	岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗 *齋藤 真規 *松島 潔 *小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/31 (金) 3時限 13:10~14:40	平常試験(総論1) :総論講義①~⑧ の範囲、解説講義	歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯(乳歯、根末完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗 *齋藤 真規 *松島 潔 *小方 頼昌

歯周治療学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	日本国民の歯周病の罹患率は、歯肉炎が約43%、歯周炎が約30%であり、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上になる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように歯周病を予防または治療することを目的とする学問である。重度歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な診断と治療計画に則った治療が要求される。的確な検査と診断、歯周治療が行えるようになるために、歯周治療学の知識、技能を習得する。
担当教員	*小方 頼昌、*中山 洋平、*吉野 祥一、*高井 英樹、*目澤 優、*加藤 彩子、*葛森 麻衣、*相羽 悠喜子、*井澤 侑美、*齋藤 由未、*高井 瑞穂、*能田 佳祐、*小田 香織、*伊藤 正一、*松田 英雄、*若林 健史
教科書	臨床歯周病学 第2版 吉江弘正ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 歯周治療学講座編
参考図書	歯周外科 見て学んでではじめるガイド 小方頼昌 編著 クインテッセンス出版 ザ・ペリオドントロジー 第3版 沼部幸博ほか 永末書店 ライチャークカラーアトラス歯周病学 第3版 日本臨床歯周病学会 永末書店 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店
実習器材	顎歯模型、歯周外科治療用器具一式
評価方法 (EV)	平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われる。そのため、適切な診断、治療が行えるように、基礎医学から臨床まで系統だった講義を行う。日頃から授業前後の勉強を欠かさずすることが不可欠です。実習では、臨床の場を想定して主にファントム (マネキン) 実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/18 (水) 1時限 09:00~10:30	歯周治療学① 総論、正常歯周組織、歯周組織の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 正常歯周組織の形態学的特徴および生理学、生化学的特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学的特徴を再度学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p>	*小方 頼昌
2019/09/25 (水) 1時限 09:00~10:30	歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況	<p>【授業の一般目標】 疫学的調査により歯周病の罹患状況を理解する。疫学的評価法を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/25 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況	<p>事前学習項目：歯周病と他の歯科疾患の罹患率について学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*中山 洋平
2019/10/02 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学③ 歯周病の病因と成り立ち、プラークと歯石、バイオフィルム、歯周病における微生物の役割、病原メカニズム	<p>【授業の一般目標】 歯周病と歯周病原菌（バイオフィルム）の関係、炎症との関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：プラークと歯石、歯周病原菌について学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。</p>	*高井 英樹
2019/10/09 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学④ 歯周病の症状と徴候、歯周組織検査①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル	<p>【授業の一般目標】 歯周病の臨床像について理解し、その症状を学ぶ。歯周病検査、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケットおよびアタッチメントレベルについて学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の症状と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病の臨床像について学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査</p>	*吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/09 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学④ 歯周病の症状と徴候、歯周組織検査①、歯周病の画像診断、歯内の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル	c 歯周組織検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メインテナンス法を含む）を説明できる。	*吉野 祥一
2019/10/16 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学⑤ 歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類	【授業の一般目標】 歯周病の臨床所見を理解し、分類とその特徴について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病の臨床所見について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 イ 歯周組織 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*小方 頼昌
2019/10/23 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学⑥ 歯周基本治療、根分岐部病変、歯内歯周病変	【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。 歯内歯周病変について学ぶ。 歯周治療の流れを説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根分岐部病変と歯内歯周病変の分類について説明できる。 3. 歯周基本治療で実施する項目を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：根分岐部病変および歯内歯周病変の分類を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 i 歯周-歯内病変 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 根分岐部病変の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。	*目澤 優
2019/11/06 (水)	歯周治療学⑦ 咬	【授業の一般目標】	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	合と歯周病、歯の動揺と移動、歯肉の増殖と退縮、歯根露出、知覚過敏症への対応	咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処について学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 合性外傷に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。	*中山 洋平
2019/11/13 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学⑧ 歯周病の病因論、宿主防御反応、全身疾患と歯周疾患の関係	【授業の一般目標】 歯周病における宿主防御過程について学ぶ。全身疾患と歯周病との関係を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病と全身疾患との関係について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 j 歯周疾患と健康の関わり 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む）。	*小方 頼昌
2019/11/20 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑨ 歯周病検査	【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解する。歯周病検査の意義と内容を説明できる。歯周病検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを説明できる。 3. 歯周病検査（基本検査、精密検査）の項目を説明できる。	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/20 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑨ 歯周病検査	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病検査項目と歯周治療の流れについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*高井 英樹
2019/11/20 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の進め方を説明できる。 3. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/11/20 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の進め方を説明できる。 3. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/20 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1)	<p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史</p>
2019/11/27 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑩ 歯周基本治療(1) 口腔衛生指導 プラッシング指導 ブラークコントロール	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。歯周基本治療の目的とその治療内容について説明できる。ブラッシング指導とブラークコントロールについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療で行う内容を説明できる。 3. 口腔衛生指導に重要性を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療の目的および項目を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス法を含む)を説明できる。</p>	<p>*吉野 祥一</p>
2019/11/27 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療1、歯周病検査(2)、歯周病の検査・診断・治療計画、プロトコールの記入、人工歯石の塗布	<p>【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを説明できる。 3. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病検査(歯周精密検査)の項目を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/27 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療1、 歯周病検査(2)、 歯周病の検査・診 断・治療計画、 プロトコールの記 入、人工歯石の塗 布	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/11/27 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療1、 歯周病検査(2)、 歯周病の検査・診 断・治療計画、 プロトコールの記 入、人工歯石の塗 布	【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを説明できる。 3. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病検査（歯周精密検査）の方法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/12/04 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学① 歯 周基本治療(2) スケーリング	【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を理解する。スケーリングに際し、適切なスケーラーを選択できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーラーの種類と特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 a 急性症状を有する歯周疾患への対応 【コアカリキュラム】	*目澤 優

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/04 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑪ 歯周基本治療(2) スケーリング	G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*目澤 優
2019/12/04 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療2、ブラッシング、補助清掃器具の使用法	<p>【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシ、音波ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 3. 電動歯ブラシの特徴と使用法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/12/04 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療2、ブラッシング、補助清掃器具の使用法	<p>【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 3. 電動歯ブラシの特徴とその使用法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：電動歯ブラシの特徴と使用法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/12/11 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑫ 歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング①	<p>【授業の一般目標】 スケーリング・ルートプレーニングに際し、適切なキュレットが選択でき、正しいポジションについて説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーリング・ルートプレーニングに関して事前学習する。</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/11 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑫ 歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング①	事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平
2019/12/11 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療3、スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法（カマ型スケーラー）、人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーラーの種類とその使用法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：スケーラーの種類とその使用法について事後学習する。 事後学習時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/12/11 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療3、スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法（カマ型スケーラー）、人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーラーの種類とその使用法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：スケーラーの種類とその使用法について事後学習する。 事後学習時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/11 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療3、 スケーリング、ス ケーリング時のポ ジショニング、ス ケーラーの使用法 (カマ型スケーラー)、 人工歯石の塗布	ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *蔦森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/12/18 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑬、歯 周基本治療(4)、 スケーリング・ル ートプレーニング②、 スケーラーの研磨、 診査・診断	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの適切な研磨ができる。歯周病検査の結果の分析、 診断について学ぶ。ルートプレーニングの目的と方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ルートプレーニングの目的と方法を理解する。 3. スケーラーおよびキュレットの適切な研磨法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーラー研磨法、ルートプレーニングの目的について事前学 習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：スケーラー研磨法、ルートプレーニングの目的について事後学 習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*高井 英樹
2019/12/18 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療4、 スケーリング・ル ートプレーニング①、 スケーラーの使用 法、グレーシーキ ュレット	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正 しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを 説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *蔦森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/18 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療4、 スケーリング・ルート プレーニング①、 スケーラーの使用 法、グレーシーキ ュレット	歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *高井 優 *目澤 彩子 *加藤 麻衣 *鳥羽 悠喜子 *相澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞穂 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/12/18 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療4、 スケーリング・ルート プレーニング①、 スケーラーの使用 法、グレーシーキ ュレット	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *高井 優 *目澤 彩子 *加藤 麻衣 *鳥羽 悠喜子 *相澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞穂 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2020/01/15 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学④、歯 周基本治療の進め 方、歯周基本治療 の意義	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療	*吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/15 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学④、歯周基本治療の進め方、歯周基本治療の意義	ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*吉野 祥一
2020/01/15 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療5、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨	【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用方法およびポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ルートプレーニングを実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ルートプレーニングに関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：ルートプレーニングに関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2020/01/15 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療5、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨	【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用方法およびポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ルートプレーニングを実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ルートプレーニングに関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：ルートプレーニングに関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/15 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療5、 スケーリング・ルー トプレーニング②、 スケーラーの研磨		*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2020/01/22 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学⑮、歯 周基本治療まとめ、 平常試験①、解説 講義	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優
2020/01/22 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学⑯、歯 周基本治療まとめ、 平常試験①、解説 講義	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小方 頼昌
2020/01/22 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療まと め、実習試験①、 実技、解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：実習で行った内容を再度事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：実習で行った内容を再度事後学習する。 事後学習時間：30分</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/22 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周基本治療まとめ、実習試験①、 実技、解説講義	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2020/01/22 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周基本治療まとめ、実習試験②、 実技、解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：実習で行った内容を再度事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：実習で行った内容を再度事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2020/01/29 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周基本治療まとめ、平常試験②、 解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療の内容について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療の内容について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/29 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周基本治療まとめ、平常試験②、解説講義	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優
2020/01/29 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周基本治療まとめ、平常試験②、解説講義 客員教授授業	<p>【授業の一般目標】 歯周病の症状を患者に適切に伝えることができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 治療を受ける患者の心理状態や理解度を配慮できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療で行う内容を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療で行う内容を事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小方 頼昌 若林 健史

保存修復学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*平山 聡司 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	<p>保存修復学は、歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復処置した歯をできるだけ長期間に渡り良好な状態で機能的且つ審美的に口腔内に保たせることを目的とする学問である。</p> <p>前期では、保存修復学総論と各論のうち間接修復法の中でも「非接着修復法」であるメタルインレー修復について学修する。総論の内容としては、う蝕やう蝕以外の硬組織疾患の種類とその病因・病態、硬組織疾患の検査方法および窩洞について学ぶ。そして、種々の症例に適応した修復材料の特徴を理解するために、メタルインレー修復を通して修復材料の材料学的、臨床的特徴について学修し、さらに回転切削器具による窩洞形成を行い、印象採得からワックスアップ等の技工操作を含めたメタルインレー修復の実習を行う。これらの学修内容は、臨床において必要不可欠となる窩洞の名称や形態の理解だけでなく、使用する材料、器具等の名称とその使用目的を学ぶ必要がある。これは保存修復治療の基礎であり、今後の授業あるいは実習内容を理解するための基本となる。</p> <p>後期は、齶蝕治療の基本概念であるMinimal Intervention Dentistry に基づいた窩洞形成と接着修復法であるコンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復を学修する。特にコンポジットレジン修復は齶蝕治療の主流であり、歯の硬組織欠損や歯の損耗および歯の変色を機能的かつ審美的に修復することができ、健康歯質の保存により歯の寿命を延伸できる処置である。更に、コンポジットレジン修復では処置できない比較的大きな歯の欠損については、間接審美修復法としてセラミックインレー修復やレジンインレー修復を学修する。その他に歯の変色に対する生活歯の漂白法や象牙質知覚過敏症の診断と処置方針に関する知識を修得する。</p>
担当教員	<p>*平山 聡司、*神谷 直孝、*岡田 珠美、*岩井 啓寿、*寺中 文子、中島 光、*大塚 一聖、*井上 椋介、*島田 裕美子、*塚原 弾、*青野 英二、*熱田 亙、*飯泉 淳、*飯田 浩雅、*壹岐 宏二、*伊東 哲明、*岩井 仁寿、*大村 基守、*金杉 紀明、*木村 大、*庫山 未希、*小泉 直也、*高鹿 志保、*小西 美徳、*齋藤 千春、*笹本 恭子、*塩 秀明、*杉山 道紀、*鈴木 英明、*須原 秀宜、*関根 哲子、*田川 剛士、*常田 幸斉、*富久田 梢、*富田 行秀、*中川 整、*並木 泰次、*深澤 正幹、*藤川 謙次、*細野 隆也、*山本 憲廣、*若松 尚吾、*渡邊 康夫</p>
教科書	保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版
参考図書	<p>第五版 保存修復学21 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 [監修] 永末書店</p> <p>保存修復サイドリーダー 河野善治、平山聡司、鈴木英明 学建書院</p> <p>Operative Dentistry Laboratory Manual 2019 平山聡司、神谷直孝、岡田珠美、岩井啓寿、寺中文子、中島 光、大塚一聖、井上椋介、島田裕美子、塚原 弾 保存修復学講座</p>
評価方法 (EV)	<p>保存修復学における評価方法は、講義と実習の評価割合を以下のようにして判定する。</p> <p>1) 講義の評価は、平常試験を4回(前期2回、後期2回)実施し、その総合評価の60%とする。なお、正当な理由がある場合のみ平常試験の追試験を行う。成績不振者については再試験を行う場合がある。</p> <p>2) 実習の評価は、実習作製物の評価(60%)、実習ポスト試験成績(10%)、実習実技試験(10%)および実習口頭試問(20%)を総合的に評価し、その評価の40%とする。なお、正当な理由がある場合のみ実習実技試験と口頭試問の追試験を行う。</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>保存修復治療は、一般歯科治療の中でも高頻度に行われる処置である。したがって、3年次で学んだことが歯科医療人としての医療知識や技術を左右するといっても過言ではないため、毎回の講義・実習を大切にしたい。</p> <p>なお、オフィスアワーは特に設定しないが、質問がある場合は随時、保存修復学講座医局または教授室で受け付ける。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/04 (木) 3時限 13:10~14:40	修復講義①: 保存修復学概説、硬組織疾患の種類	<p>【授業の一般目標】 健康で豊かな口腔機能を維持増進させるために、保存修復学の概念と修復処置の対象となる硬組織疾患の種類および治療に用いる修復材料と切削器具の変遷について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 保存修復学の概念と目的について説明できる。 3. 修復材料に関する歴史について説明できる。 4. 歯の切削器具に関する歴史について説明できる。 5. 歯の硬組織疾患の種類について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 1~5、pp. 13~20を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題への取り組み ・事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/04 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義①：保存修復学概説、硬組織疾患の種類	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 b 歯の症候（齶蝕、硬組織欠損、変色、亀裂、破折）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/04/11 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義②：う蝕以外の歯の硬組織疾患	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織に生じた欠損に対して適切な診断と処置が行えるようになるために、その原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕以外の歯の硬組織疾患を列挙できる。 3. Tooth Wearについて説明できる。 4. クサビ状欠損の原因と特徴について説明できる。 5. 摩耗症の原因と特徴について説明できる。 6. 咬耗症の原因と特徴について説明できる。 7. 酸蝕症の原因と特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 15～20を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear<歯の損耗></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/04/18 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義③：う蝕の病因・病態と処置1	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患のうち最も多いう蝕の処置が行えるようになるために、う蝕の病因と病態および予知について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕の分類と表記を説明できる。 3. う蝕のリスクファクターについて説明できる。 4. 再石灰化について説明できる。 5. う蝕の予知について説明できる。 6. う蝕の処置方法について説明できる。 7. う蝕予防とPMTCについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 21～31を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/18 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義③：う蝕の病因・病態と処置1	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 b 齶蝕のリスクファクター a 齶蝕の予防・管理 b 齶蝕の予防効果の評価 c 初期齶蝕の診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/04/25 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義④：う蝕の病因・病態と処置2	<p>【授業の一般目標】 う蝕の処置が行えるようになるために、エナメル質、象牙質およびセメント質におけるう蝕の拡がり方の違いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CO、C1、C2、C3およびICDASについて説明できる。 3. エナメル質う蝕の特徴を説明できる。 4. 象牙質う蝕の特徴を説明できる。 5. セメント質う蝕の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 21～31を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 b 齶蝕のリスクファクター a 齶蝕の予防・管理 b 齶蝕の予防効果の評価 c 初期齶蝕の診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/04/26 (金) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑤：硬組織疾患の検査法	<p>【授業の一般目標】 硬組織欠損の原因を探り診断と処置方針の決定と適切な処置ができるようになるために、硬組織疾患の検査法に必要な器具およびその目的と扱い方について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/26 (金) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑤：硬組織疾患の検査法	<p>2. 硬組織疾患の診断に必要な検査法を列挙できる。 3. 検査に必要な器具の名称と使用法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 52～58を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/04/26 (金) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑥：窩洞の名称と分類	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 3. 窩洞の種類について説明できる。 4. 窩洞の分類について説明できる。 5. Blackの窩洞分類について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 109-120を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/05/09 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑦：窩洞の具備条件	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞の具備条件と窩洞外形を規定する因子について理解する。</p>	* 平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/09 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑦：窩洞の具備条件	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 窩洞の具備条件を列挙できる。 3. 窩洞外形を規定する因子を列挙できる。 4. 保持形態について説明できる。 5. 抵抗形態について説明できる。 6. 便宜形態について説明できる。 7. 窩縁形態について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 109-120を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/05/16 (木) 3時限 13:10～14:40	平常試験1・解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>修復講義①～⑦の講義内容に関する知識の深化と理解度を評価するために、MCQと筆記による試験を行い、試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：修復講義①～⑦の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験1の見直し ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p>	*平山 聡司
2019/05/16 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑧：修復物の具備すべき形状と面の性状	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な修復物の形態付与ができるようになるために、修復物の具備すべき形状と面の性状について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復物が具備すべき歯冠形態について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 135～137を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/16 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑧：修復物の具備すべき形状と面の性状	④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。	* 平山 聡司
2019/05/23 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑨：修復前準備、滅菌消毒と感染予防	<p>【授業の一般目標】 適切な修復操作が行えるようになるために、修復前準備の種類とその意義目的および必要な器具について理解する。 修復処置にあたり感染予防が実施できるようになるために、歯科用器具の滅菌法と消毒法の種類と使用する器具や薬物について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 3. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。 4. スタンダードプレコーションについて説明できる。 5. 滅菌法の種類とその特徴について説明できる。 6. 消毒法の種類とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 40～43、126～134を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ④滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/05/24 (金) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑩：硬組織の切削器具と歯髄傷害およびその対策	<p>【授業の一般目標】 適切な硬組織の切削が行えるようになるために、回転切削器具や手用切削器具の種類とその特徴および歯髄傷害の予防を考慮した切削法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 3. 回転切削器械の種類と特徴について説明できる。 4. その他の硬組織切削器具の種類とその特徴について説明できる。 5. 歯質切削後のエナメル質・象牙質の損傷について説明できる。 6. 歯質切削後の歯髄の傷害について説明できる。 7. 歯髄傷害の予防対策について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 97～108、120～122を読んでおく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ウ 器械の安全な取扱法 b 治療に用いる基本的器材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論</p>	* 平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/24 (金) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑩：硬組織の切削器具と歯髄傷害およびその対策	各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。	* 平山 聡司
2019/05/30 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習①：2倍大模型1級窩洞形成 (26:OP)	【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器械を正しく使用できる。 3. タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。 4. 1級窩洞の窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 * 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/05/30 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習②：歯の切削の基本 2倍大模型2級窩洞形成 (36:MO)	【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器械を正しく使用できる。 3. タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。 4. 2級窩洞の窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具)	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 * 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/30 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習②：歯の切削の基本 2倍大模型 2級窩洞形成 (36:MO)	D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/06/06 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑩：メタルインレー修復の特徴と術式	【授業の一般目標】 白歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の特徴と臨床手順について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレー修復の特徴について説明できる。 3. メタルインレーの材料学的特徴について説明できる。 4. メタルインレー修復法の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 192～195を読んでおく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*平山 聡司
2019/06/06 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑪：メタルインレー修復の窩洞形態	【授業の一般目標】 白歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の窩洞の具備条件について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレー修復窩洞の外形線の設計について説明できる。 3. メタルインレー修復窩洞の保持形態について説明できる。 4. メタルインレー修復窩洞の抵抗形態について説明できる。 5. メタルインレー修復窩洞の便宜形態について説明できる。 6. メタルインレー修復窩洞の窩縁形態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 192-195を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*岩井 啓寿
2019/06/13 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習③：メタルインレー 2級窩洞形成 (46:M)	【授業の一般目標】 口腔内で直視による 2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いに	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	O)	<p>ついて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2級メタルインレー窩洞の窩壁の名称について説明できる。 2級メタルインレー窩洞の具備条件について説明できる。 直視による正しいチェアーポジションが取れる。 窩洞形成に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 直視によるメタルインレー2級窩洞の形成ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 事前学修時間：30分 事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。</p>	<p>*岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 中川 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫</p>
2019/06/13 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習④：メタルインレー2級窩洞形成（46：MO）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 直視による正しいチェアーポジションが取れる。 直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。 窩洞形成に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 事前学修時間：30分 事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p>	<p>*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 中川 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/13 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習④:メタルインレー2級窩洞形成(46:M O)	<p>1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/06/27 (木) 3時限 13:10~14:40	修復講義⑬:連合印象法、仮封材	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー体を作製できるようになるために、窩洞形成歯の印象採得に必要な印象材の種類とその特徴および連合印象法について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 連合印象法の特徴について説明できる。 4. 連合印象法の手順について説明できる。 5. 仮封の目的について説明できる。 6. 仮封材の所要性質と種類および使用方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:保存修復学第6版、pp.196-198を読んでおく。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ウ 機能印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	*岡田 珠美
2019/06/27 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑭:インレーワックス、埋没法	<p>【授業の一般目標】 窩洞に適合するメタルインレー体を作製できるようになるために、インレーワックスと埋没法の材料学的特徴および鑄造欠陥について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インレーワックスの種類と特徴を説明できる。 3. 埋没法の種類と所要性質を説明できる。 4. 鑄造欠陥の種類とその原因について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:保存修復学第6版、pp.200-203を読んでおく。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間:30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論</p>	*岡田 珠美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/27 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑭：インレーワックス、埋没法	<p>総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 b 石膏系埋没法材、リン酸塩系埋没法材 c 鑄造精度、鑄造欠陥</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*岡田 珠美
2019/07/04 (木) 3時限 13:10～14:40	平常試験2・解説講義	<p>【授業の一般目標】 修復講義⑧～⑭の範囲についてMCQと筆記による試験を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：60分修復講義⑧～⑭の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験2の見直し ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	*平山 聡司 *岡田 珠美 *岩井 啓寿
2019/07/04 (木) 4時限 14:50～16:20	実習実技試験1：下顎大白歯2級メタルインレー窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー修復窩洞に必要な窩洞の具備条件を理解し、模型上で2級メタルインレー窩洞の形成ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 2級メタルインレー窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：下顎大白歯2級メタルインレー窩洞の特徴と具備条件、窩洞形成に用いる切削器具の選択について修得しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：製作物の評価について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/07/11 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑤：シリコン連合印象採得	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー体作製のための作業模型が製作できるようになるために、シリコン連合印象材の特徴と採得手順について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の適切な取り扱いができる。 3. シリコン連合印象材によるメタルインレー窩洞の印象採得ができる。 4. アルジネート印象材により対合歯の印象採得ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/11 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑤: シリコーン連合印象採得	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 c 印象用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	<p>金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸齊 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫</p>
2019/07/11 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑥: 咬合採得、作業模型の作製	<p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体の作製ができるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業模型を作製できる。 3. メタルインレー修復の咬合採得ができる。 4. メタルインレー修復窩洞に対する仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	<p>*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熟田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸齊 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫</p>
2019/07/18 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑦: 作業模型の作製	<p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体のワックスアップが行えるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業模型を作製できる。 3. 作業模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熟田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/18 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑦: 作業 模型の作製	<p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/07/18 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑧: ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インレーワックスの取り扱いができる。 3. 2級メタルインレーのワックス形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明
2019/07/25 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑨: ワックスアップ・埋没	<p>【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップと埋没操作について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インレーワックスの取り扱いができる。 3. 2級メタルインレーのワックス形成ができる。 4. 石膏系埋没材の特徴について説明できる。 5. 埋没操作手順を説明できる。 6. キャスティングライナーの使用目的について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/25 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑨: ワックスアップ・埋没	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 b 石膏系埋没材、リン酸塩系埋没材</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/07/25 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑩: メタルインレーの装着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>メタルインレー体を窩洞に適切に装着するために、メタルインレー体装着手順と合着用グラスアイオノマーセメントの取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2級メタルインレー修復物装着のための窩洞への試適・調整手順について説明できる。 2級メタルインレー修復物の窩洞への試適・研磨ができる。 合着用グラスアイオノマーセメントの練和ができる。 合着用グラスアイオノマーセメントを用いてメタルインレー修復物の装着ができる。 メタルインレー修復後の予後について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 事前学修時間: 30分 事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-1 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/08/29 (木) 3時限 13:10~14:40	実習口頭試問 1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口頭試問の範囲: 修復実習①~⑩の実習内容</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 実習で学んだ修復術式について説明できる。 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 実習で学んだ間接修復法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目: 修復実習①~⑩の範囲について復習しておくこと。 事前学修時間: 180分 事後学修項目: 口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 事後学修時間: 60分 <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/29 (木) 3時限 13:10~14:40	実習口頭試問 1	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材 3 印象用材料 ウ 機能印象材 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/08/29 (木) 4時限 14:50~16:20	実習口頭試問 1	<p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習①~⑩の実習内容</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習で学んで修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 3. 実習で学んだ間接修復法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復実習①~⑩の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス 3 印象用材料 ウ 機能印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 棕介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/09/19 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑮：う窩の処置、覆髄法、IPC	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別と除去に使用する器具および歯髄保護について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. エナメル質の再石灰化療法について説明できる。 3. MIに基づいたう蝕象牙質の除去について説明できる。 4. う窩処置に用いる器材について説明できる。 5. う蝕象牙質第一層と第二層について説明できる。 6. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分けについて説明できる。 7. 間接歯髄覆髄法と直接歯髄覆髄法の目的と術式および使用薬物について説明できる。 8. 暫間的歯髄覆髄（IPC）法の目的と術式および使用薬物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/19 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑩: う窩の処置、覆髄法、IPC	<p>・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 68~73、122~125を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/09/19 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑪: 診療姿勢、修復前準備 (ラバーダム防湿法)	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が実施ができるようになるために、正しい診療ポジションとラバーダム防湿法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 棕介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金村 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/09/19 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑫: 感染象牙質除去とIPC法	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法およびIPC法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 正しいチェアポジションで処置が行える。 3. ラバーダム防湿が実施できる。 4. う蝕検知液を適切に使用できる。 5. う窩の開拡と感染象牙質除去に使用する器具が選択できる。 6. 回転切削器具によるう窩の開拡と感染象牙質の除去ができる。 7. IPCを正しい術式に従って適切に実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 棕介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金村 紀明 木村 大 庫山 未希

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/19 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑫：感染 象牙質除去とIPC 法	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富田 行秀 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/09/26 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑩：コン ポジットレジン修 復とコンポジット レジン修復窩洞の 特徴	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復窩洞が形成できるようになるために、コンポジットレジン材料学的特徴とコンポジットレジン窩洞について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン材料学的特徴について説明できる。 3. コンポジットレジン修復窩洞の窩洞外形の設定について説明できる。 4. コンポジットレジン修復窩洞の保持形態について説明できる。 5. コンポジットレジン修復窩洞の抵抗形態について説明できる。 6. コンポジットレジン修復窩洞の便宜形態について説明できる。 7. コンポジットレジン修復窩洞の窩縁形態について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 156～157を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：あり（ピア・インストラクション） 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/09/26 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑬：1級 コンポジットレジン 修復（36：O）	<p>【授業の一般目標】 1級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、1級コンポジットレジン修復の手順（前準備、う蝕除去、接着操作およびレジン充填）について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MIに基づいた1級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 3. ラバーダム防湿法が実施できる。 4. 適切な接着操作ができる。 5. 1級コンポジットレジン充填ができる。 6. 1級コンポジットレジン充填の形態修正が行える。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/26 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑬: 1級 コンポジットレジン 修復 (36:O)	<p>・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	木村大 山未 庫希 小直 泉也 高志 鹿保 小美 西徳 *齋藤千春 本藤 塩恭 山秀 *鈴木明 須原英 *関根哲 田剛 川幸 常士 富幸 久田梢 田行 中秀 並木整 深澤泰 川正 細野幹 山本謙 若廣 渡尚 邊吾 夫康
2019/09/26 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑭: 5級 コンポジットレジン 修復	<p>【授業の一般目標】 5級欠損に対するコンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 5級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 3. 簡易防湿ができる。 4. 歯面処理ができる。 5. コンポジットレジンを充填できる。 6. サービカルマトリックスによる圧接・形態付与ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山未 庫希 小直 泉也 高志 鹿保 小美 西徳 *齋藤千春 本藤 塩恭 山秀 *鈴木明 須原英 *関根哲 田剛 川幸 常士 富幸 久田梢 田行 中秀 並木整 深澤泰 川正 細野幹 山本謙 若廣 渡尚 邊吾 夫康
2019/10/03 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑯: コン ポジットレジン修 復の術式と使用機 材	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復窩洞の充填・研磨に用いる器具・機材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復の臨床術式について説明できる。 3. コンポジットレジンの圧接子と隔壁について説明できる。 4. コンポジットレジン修復に用いるその他の器材について説明できる。 5. 光照射器の種類と特徴および取り扱いについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 157~166を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/03 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑭: コンポジットレジン修復の術式と使用機材	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/10/03 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑮: 2級コンポジットレジン修復 (25:OD)	<p>【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MI に基づいた 2 級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 3. プレウエッジができる。 4. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 5. 適切な接着操作ができる。 6. トッフルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 7. コンタクトマトリックスを用いて隔壁が設置できる。 8. 積層充填による 2 級コンポジットレジン充填ができる。 9. 2 級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/10/03 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑯: 2級コンポジットレジン修復 (36:MO)	<p>【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プレウエッジができる。 3. MI に基づいた 2 級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 4. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 5. 適切な接着操作ができる。 6. トッフルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 7. リング状リテーナーを用いた隔壁が設置できる。 8. 積層充填による 2 級コンポジットレジン充填ができる。</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/03 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑩：2級 コンポジットレジン 修復（36：MO）	9.2 級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	飯田 浩雅 * 齋岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸齊 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫
2019/10/10 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑩：コン ポジットレジンに おける接着歯学	【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの歯質接着性システムと術式について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 接着性修復の意義と歴史について説明できる。 3. 接着性修復の種類と特徴について説明できる。 4. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 5. セルフエッチングプライマーとボンディング材の組成について説明できる。 6. 2ステップボンディングシステムによる接着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 139~143を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防充填・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。	* 平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/10 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑦: 3級 コンポジットレジン 修復 (2 1 : M B)	<p>【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プレウエッジができる。 3. 適切な3級MB窩洞の形成ができる 4. 隔壁の設置ができる。 5. 適切な歯面処理ができる。 6. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫</p>
2019/10/10 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑧: 3級 コンポジットレジン 修復 (1 1 : M P)	<p>【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プレウエッジができる。 3. ミラーテクニックによる舌側面から3級MP窩洞の窩洞形成ができる。 4. 隔壁の設置ができる。 5. 適切な歯面処理ができる。 6. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/17 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑩: コンポジットレジン修復の臨床的問題点とその対策	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジンレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの重合収縮応力の発生とその対処法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復の収縮応力について説明できる。 3. コントラクションギャップについて説明できる。 4. ホワイトマージンについて説明できる。 5. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 6. コンポジットレジン修復後の不快症状への対処法について説明できる。 7. コンポジットレジン修復の予後について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 153~155を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3- (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/10/17 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑩: 4級コンポジットレジン修復 (11: B D P I)	<p>【授業の一般目標】 4級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切な4級BDPI窩洞の形成ができる。 3. 隔壁の設置ができる。 4. 適切な歯面処置ができる。 5. コンポジットレジンの充填ができる。 6. 形態修正ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 豊岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸齊 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/17 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑩: 4級 コンポジットレジン 修復 (11:B DPI)	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/10/17 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑩: コン ポジットレジン修 復の仕上げ研磨	【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復の仕上げ研磨が行えるようになるために、研磨の術式と目的および使用器材の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 解剖学的形態を考慮した形態修正ができる。 3. コンポジットレジン形態修正および仕上げ研磨に使用する器材を選択できる。 4. 形態修正と仕上げ研磨が実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/10/24 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑩: グラ スアイオノマーセ メント修復とAR T	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損を適切に修復するために、ガラスアイオノマーセメントの適応症、特徴、術式およびARTの目的と使用材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. グラスアイオノマーセメント修復の適応症について説明できる。 3. グラスアイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 4. 従来型ガラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 5. レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 6. グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。 7. 根面う蝕の処置方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 167~174を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器	* 平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/24 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑩：ガラスアイオノマーセメント修復とART	5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型ガラスアイオノマーセメント 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	*平山 聡司
2019/10/24 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑩：根面う蝕に対するガラスアイオノマーセメント修復	【授業の一般目標】 根面う蝕に対してガラスアイオノマーセメント修復が行えるようになるために、適切な歯面処理とセメント充填および研磨について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根面う蝕の特徴について説明できる。 3. 根面う蝕に対する適切なう蝕除去ができる。 4. 簡易防湿ができる。 5. 従来型ガラスアイオノマーセメント充填ができる。 6. 形態付与ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亶 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 幸梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/10/24 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑩：クサビ状欠損に対するガラスアイオノマーセメント修復	【授業の一般目標】 クサビ状欠損に対してガラスアイオノマーセメント修復が行えるようになるために、適切な歯面処理とセメント充填および研磨について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クサビ状欠損部に対する適切な切削ができる。 3. 簡易防湿ができる。 4. レジン添加型ガラスアイオノマーセメント充填ができる。 5. 形態付与ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亶 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/24 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習②: クサビ状欠損に対する グラスアイオノマー セメント修復	第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 行秀 富田 稍 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 山本 尚吾 渡邊 康夫
2019/10/31 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験3・解説 講義	【授業の一般目標】 修復講義⑮～⑳の範囲についてMCQと筆記による試験を行う。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 修復講義⑮～⑳の範囲の復習 ・事前学修時間: 360分 ・事後学修項目: 平常試験3の見直し ・事後学修時間: 60分 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室	*平山 聡司
2019/10/31 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑳: 回転 切削器以外の切削 法と歯の色彩学	【授業の一般目標】 審美的なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、歯科用レーザー、エアブレイシブおよび薬剤によるう蝕除去方法と歯質の測色、コンポジットレジンの色彩学的特徴および積層充填法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科用レーザーの種類と用途について説明できる。 3. 歯科用レーザーの特徴について説明できる。 4. 歯科用レーザー使用時の注意点について説明できる。 5. エアブレイシブと薬剤を併用した齲蝕象牙質の切削について説明できる。 6. シュードテイキングについて説明できる。 7. コンポジットレジンの色彩学的特徴について説明できる。 8. 歯の色を測色する方法について説明できる。 9. コンポジットレジンの色に関連する要素を説明できる。 10. コンポジットレジンの色を考慮した積層法(レイヤリングテクニック)について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 105～108、p158 (4) 色合わせについてを読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 ア 診療用器械 d レーザー装置 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。	*平山 聡司 *岩井 啓寿
2019/10/31 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義㉑: 象牙 質知覚過敏症とそ の処置方針	【授業の一般目標】 象牙質知覚過敏症の診断と処置ができるようになるために、症状の原因と特徴、診断に必要な検査および適切な処置方針と使用薬物について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 象牙質知覚過敏症の特徴について説明できる。 3. 象牙質知覚過敏症の原因について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の診断に必要な検査について説明できる。	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/31 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義②：象牙質知覚過敏症とその処置方針	<p>5. 象牙質知覚過敏症の処置方針が立案できる。 6. 象牙質知覚過敏症の治療に用いる薬物の効果について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 79～82を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 d 象牙質知覚過敏症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/11/07 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義③：ベニア修復	<p>【授業の一般目標】 前歯部の審美修復が行えるようになるために、ラミネートベニア修復とコンボジットレジンダイレクトベニア修復の特徴と臨床手順について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ラミネートベニア修復の特徴について説明できる。 3. ラミネートベニア修復の手順について説明できる。 4. コンボジットレジンダイレクトベニア修復の特徴について説明できる。 5. コンボジットレジンダイレクトベニア修復の手順について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 228～236を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	*神谷 直孝
2019/11/07 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義④：セラミック（コンボジットレジン）インレー修復	<p>【授業の一般目標】 臼歯部欠損修復のうち審美的間接修復が行えるようになるために、セラミックインレーとコンボジットレジンインレー修復の特徴と術式および窩洞の具備条件と象牙質コーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. セラミックインレー修復とコンボジットレジンインレー修復の特徴と適応症について説明できる。 3. セラミック（コンボジットレジン）インレー修復の術式について説明できる。 4. セラミック（コンボジットレジン）インレー窩洞の特徴について説明できる。 5. レジンコーティング法の目的について説明できる。 6. レジンコーティング法の術式について説明できる。 7. レジンコーティング後の印象採得の注意点について説明できる。</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/07 (木) 3時限 13:10~14:40	修復講義⑭:セラミック(コンポジットレジン)インレー修復	<p>8. レジンコーティング後の適切な仮封材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 210~221を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	*神谷 直孝
2019/11/07 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑮:コンポジットレジンインレー修復とセラミックインレー修復の作製法	<p>【授業の一般目標】</p> <p>審美的間接修復法を用いた修復が行えるようになるために、その作製方法とその特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンインレーの作製手順について説明できる。 3. セラミックインレー窩洞の特徴について説明できる。 4. セラミックインレー修復の作製法の種類とその特徴について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 216~228を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*神谷 直孝
2019/11/14 (木) 2時限 10:40~12:10	修復実習⑯:コンポジットレジンインレー2級窩洞形成 (36:MO) とレジンコーティング	<p>【授業の一般目標】</p> <p>臼歯部硬組織欠損をコンポジットレジンインレーで修復するために、適切な窩洞形成と象牙質に対するレジンコーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 2級コンポジットレジンインレー窩洞の形成ができる。 3. プレウエッジが行える。 4. レジンコーティング法ができる。 	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/14 (木) 2時限 10:40~12:10	修復実習③: コンポジットレジンインレー2級窩洞形成(36:MO)とレジンコーティング	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫</p>
2019/11/14 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習④: コンポジットレジンインレー修復-印象採得・咬合採得・仮封-	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コンポジットレジンインレー体を作製するために、コンポジットレジンインレー窩洞の連合印象と咬合採得および仮封について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 3. 咬合採得ができる。 4. 水硬性セメントを用いた仮封ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	<p>*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 棕介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫</p>
2019/11/14 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑤: コンポジットレジンインレー修復-作業模型作製-	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コンポジットレジンインレー修復が行えるようになるために、作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業模型の作製ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 	<p>*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 棕介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/14 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑤: コン ポジットレジンイ ンレー修復 一作 業模型作製一	<p>・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを 行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/11/21 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑥: 接着 性レジンセメント と補修修復	<p>【授業の一般目標】 間接修復法による修復物の接着と補修が行えるようになるために、レジンセメ ントの種類と特徴および異種材料に対する非着面の処理方法と手順について理 解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科用接着用セメントの種類について説明できる。 3. レジンセメントの種類と組成について説明できる。 4. 無機接着用セメントの組成について説明できる。 5. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 6. 補修修復の適応症について説明できる。 7. 補修修復の術式と器材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 保存修復学第6版、pp. 181～191、243～224を読んでおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題 の解答 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 ウ 歯科材料接着処理 a セラミックス被着面処理 b 金属被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明で きる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明で きる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/12/05 (木) 2時限	修復講義⑦: 生活 歯の漂白	<p>【授業の一般目標】 生活歯漂白法により変色歯を審美的に改善できるようになるために、変色歯の</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	修復講義㉗：生活歯の漂白	<p>診断、生活歯漂白法の種類と使用薬物の取扱い方法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の変色の原因について説明できる。 3. テトラサイクリン変色歯の分類について説明できる。 4. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 5. 漂白法に用いる薬剤の組成について説明できる。 6. オフィスブリーチの術式を説明できる。 7. ホームブリーチの術式を説明できる。 8. 生活歯漂白の問題点について説明できる。 9. 漂白歯の予後について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第6版、pp. 82～88を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 g 歯の漂白</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色 g 歯の変色・着色予防</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	* 平山 聡司
2019/12/12（木） 2時限 10:40～12:10	修復実習㉘：コンポジットレジンインレー体の作製	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コンポジットレジンインレー窩洞に適合するインレー体を作製するために、材料の特性、コンポジットレジンインレー体の作製手順と解剖学的形態の付与および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンインレー体の作製手順について説明できる。 3. 解剖学的形態を付与したコンポジットレジンインレー体が作製できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 瓦 飯田 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/12 (木) 2時限 10:40～12:10	修復実習⑥:コン ポジットレジンイ ンレー体の作製	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。	藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/12/12 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑦:コン ポジットレジンイ ンレー体の装着	【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体の適切な装着操作が行えるようになるために、 レジンセメントの操作方法、操作手順、被着面処理および仕上げ研磨について 理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. レジンインレーの試適・調整について説明できる。 3. レジンインレー体内面の処理ができる。 4. 適切な窩洞の歯面処理ができる。 5. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 6. レジンセメントによるレジンインレー体の接着ができる。 7. レジンインレー体装着後の咬合調整と仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予 習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行 なうこと。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明 できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 山若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/12/12 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑧:補修 修復 (異種材料へ の接着)	【授業の一般目標】 欠損が生じた修復物の補修ができるようになるために、補修修復に用いる処理 材と器材および処置手順について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 異種材料に対する接着前処理を行うことができる。 3. コンポジットレジンインレーの辺縁破折に対する補修修復ができる。 4. メタルインレー修復の辺縁部に生じた2次う蝕に対する補修修復ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予 習しておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行 なうこと。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習マニュアル、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復 【国家試験出題基準 (副)】	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美德 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸斉 富久田 梢 富田 行秀 中川 整

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/12 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑧：補修修復（異種材料への接着）	<p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 ウ 歯科材料接着処理 a セラミックス被着面処理 b 金属被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫
2019/12/19 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑧：まとめ講義	<p>【授業の一般目標】 保存修復学後期で学修した知識をより深化させるために、講義⑩～⑫に関するまとめ講義内容について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MIコンセプトに基づいたコンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。 3. コンポジットレジン修復の特徴、使用器具および前準備について説明できる。 4. コンポジットレジン修復の接着操作、充填操作、研磨および予後について説明できる。 5. グラスアイオンマーセメント修復の特徴、使用器具および前準備について説明できる。 6. セラミックインレー修復の特徴、窩洞形態、レジンコーティングについて説明できる。 7. セラミックインレー修復の術式と接着操作について説明できる。 8. 異種材料に対する補修修復の目的と接着操作および使用処理剤とその術式について説明できる。 9. 象牙質知覚過敏症の原因と診断および治療方針について説明できる。 10. 生活歯漂白法の種類と使用薬物および術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：講義⑩～⑫の復習。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：あり（ピア・インストラクション） 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 d 窩洞形成法 e 象牙質・歯髄保護法 f 補修修復 g 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/16 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験4・解説 講義	<p>【授業の一般目標】 修復講義①～⑧の範囲についてMCQと筆記による試験を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復講義①～⑧の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験4の見直し ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	<p>*山 聡司 *神谷 直孝 *岩井 啓寿</p>
2020/01/23 (木) 2時限 10:40～12:10	実習口頭試問2	<p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習①～⑧までの範囲</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 3. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 4. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、その治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復実習①～⑧の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	<p>*山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 *中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久 幸 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 康夫</p>
2020/01/23 (木) 3時限 13:10～14:40	実習口答試問2	<p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習①～⑧までの範囲</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 3. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 4. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復実習①～⑧の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	<p>*山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 *中島 光 *大塚 一聖 *井上 椋介 *島田 裕美子 *塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 *壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 *齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 *鈴木 英明 須原 秀宜 *関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久 幸 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/23 (木) 3時限 13:10~14:40	実習口答試験 2	<p>【授業の一般目標】 口頭試験の範囲：修復実習①～⑧までの範囲</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 3. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 4. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復実習①～⑧の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：口頭試験の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫
2020/01/30 (木) 2時限 10:40~12:10	実習実技試験 2	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復 2 級窩洞における窩洞形成、隔壁設置、接着操作および充填操作が実施できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン 2 級窩洞にダブルマイヤー型マトリックスリテーナーの装着ができる。 3. コンポジットレジンの適切な接着操作ができる。 4. 解剖学的形態を考慮したレジン充填ができる。 5. レジン充填後の形態修正ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：コンポジットレジンの術式と隔壁設置およびレジンの充填操作を修得しておくこと。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：製作物の評価について振り返りを行なうこと。 ・事前学修時間：30分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 * 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 * 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 * 鈴木 英明 須原 秀宜 * 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫

歯内療法学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*松島 潔 (歯内療法学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	う蝕の進行あるいは外傷によって歯の中心に存在している歯髄（軟組織：いわゆる歯の神経）に疾患（主に歯髄炎）がおよぶようになる。また、生活力を失った歯髄は、根尖の歯周組織に新たな疾患を引き起こす。疾患に陥った歯髄を健康に回復あるいは歯髄を除去する処置、失活によって引き起こされた根尖の歯周組織の疾患を治癒し、歯の維持を図ることを目的とした学問である。歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。
担当教員	*松島 潔、*辻本 恭久、*川島 正、*岡部 達、*神尾 直人、*齊藤 梨紗、*鈴木 誠、*染谷 ひとみ、*葉山 朋美、*吉田 陽子、*和田 健、*相浦 誠一郎、*伊澤 真人、*上田 幾大、*大林 英美、*喜多 詔規雄、*五味 博之、*斎藤 一央、*塩沢 督、*高瀬 俊彦、*高橋 知多香、*田中 みどり、*塚田 典功、*寺澤 秀朗、*富田 敬、*中澤 弘貴、*長島 潔、*中嶋 真樹、*中沼 邦欣、*馬場 俊晃、*久松 弘幸、*福田 涼子、*細谷 史規、*三浦 孝司、*村上 芳弘、*本木 平和、*山浦 賀弘、*三橋 純
教科書	歯内治療学 第5版 勝海一郎 興地隆史 石井信之 中田和彦 医歯薬出版株式会社 Endodontics Manual (歯内実習マニュアル) 松島潔、辻本恭久、他 歯内療法学講座
参考図書	エンドドンティクス 第4版 須田英明、中村洋 他 永末書店
評価方法 (EV)	歯内講義 (60%) : 平常試験①～④ 歯内実習 (40%) : 実習筆記試験、実技試験 (2回)、レポート、実習態度 の総合評価 平常試験は、原則的に追試験を行いません。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/05 (金) 3時限 13:10~14:40	歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/04/05 (金) 4時限 14:50~16:20	歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/05 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/04/12 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義②：歯内療法で扱う疾患	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/04/12 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義②：歯内療法で扱う疾患	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/12 (金) 4時限 14:50~16:20	歯内講義②：歯内療法で扱う疾患	<p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/04/19 (金) 4時限 14:50~16:20	歯内講義③：歯髄疾患の症状と組織変化	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患の組織変化を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/05/10 (金) 3時限 13:10~14:40	歯内講義④：根尖性歯周炎の症状と組織変化	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖歯周疾患の組織変化を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/10 (金) 3時限 13:10~14:40	歯内講義④：根尖性歯周炎の症状と組織変化	7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*松島 潔
2019/05/17 (金) 3時限 13:10~14:40	歯内講義⑤：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 2. ②歯髄炎の進展の特徴を説明できる。 3. ③象牙質知覚過敏症と歯髄炎の違いを説明できる。 4. ④根尖性歯周炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・疼痛の伝達を説明できる。 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*松島 潔
2019/05/17 (金) 4時限 14:50~16:20	歯内講義⑥：歯髄疾患、根尖性歯周疾患の原因	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周疾患の原因を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 口腔内細菌を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/17 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑥：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因	<p>1 病因、病態 オ 炎症 b 原因 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/05/24 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内平常試験①：歯内講義①～⑥の範囲（記述式試験）	<p>【授業の一般目標】 歯内療法試験範囲：歯内講義①～⑥の範囲</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	*松島 潔
2019/05/31 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑦：歯内平常試験①の解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯髄疾患、根尖歯周疾患を理解するために、歯内講義①～⑥の内容を再習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯の形態と機能（象牙質・歯髄）を説明できる。 2. 歯内療法で扱う疾患を説明できる。 3. 歯髄炎、根尖歯周炎の症状と組織変化を説明できる。 4. 歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を説明できる。 5. 歯髄炎、根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義①～⑥の内容を再復習する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/06/07 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑧：歯髄・根尖歯周組織の検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄・根尖歯周組織の検査を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯髄・根尖歯周組織の病態を説明できる。 2. 検査の目的を説明できる。 3. 歯髄の検査を説明できる。 4. 根尖歯周組織の検査を説明できる。</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/07 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑧：歯 髓・根尖歯周組織 の検査	<p>5. 検査結果から歯髓・根尖歯周組織の病態を判断できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髓炎・根尖性歯周炎の病態</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 b 歯髓・根管検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査 c パノラマエックス線検査 歯科医学各論 各論II 歯・歯髓・歯周組織の疾患 2 歯髓疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髓疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髓疾患 b 根尖性歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髓・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髓・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*松島 潔
2019/06/07 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑧：歯 髓・根尖歯周組織 の検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓・根尖歯周組織の検査を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯髓・根尖歯周組織の病態を説明できる。 2. 検査の目的を説明できる。 3. 歯髓の検査を説明できる。 4. 根尖歯周組織の検査を説明できる。 5. 検査結果から歯髓・根尖歯周組織の病態を判断できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髓炎・根尖性歯周炎の病態</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 b 歯髓・根管検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査 c パノラマエックス線検査 歯科医学各論 各論II 歯・歯髓・歯周組織の疾患 2 歯髓疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髓疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髓疾患 b 根尖性歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髓・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/07 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑧：歯髄・根尖歯周組織の検査	①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔
2019/06/14 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑨：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法 b 手術野の防湿・消毒、清潔操作 d 標準予防策<standard precautions></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/06/14 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑨：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/14 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑨：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法）	b 手術野の防湿・消毒、清潔操作 d 標準予防策<standard precautions> 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*松島 潔
2019/06/21 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑩：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 2. ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 3. ③抜髄法の適応症、術式を説明できる。 4. ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 5. ⑤除痛法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*松島 潔
2019/06/21 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑩：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 2. ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 3. ③抜髄法の適応症、術式を説明できる。 4. ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 5. ⑤除痛法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/21 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑩：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*松島 潔
2019/06/28 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑪：根尖性歯周炎の臨床（感染根管治療）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/06/28 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑪：根尖性歯周炎の臨床（感染根管治療）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/28 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑪：根尖性歯周炎の臨床(感染根管治療)	②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*松島 潔
2019/07/05 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑫：歯内療法の原則	<p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*松島 潔
2019/07/05 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑫：歯内療法の原則	<p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/05 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑫：歯内療法 の原則	c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔
2019/07/12 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑬：抜髄と感染根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根管拡大の意義を説明できる。 2. ②歯内療法の適応を選択できる。 3. ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 4. ④感染根管の成立について説明できる。 5. ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 6. ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔
2019/07/12 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑬：抜髄と感染根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根管拡大の意義を説明できる。 2. ②歯内療法の適応を選択できる。 3. ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 4. ④感染根管の成立について説明できる。 5. ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 6. ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/12 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑬：抜髄と感染根管治療	2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔
2019/07/19 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑭：歯内療法学の基礎医学	【授業の一般目標】 歯髄疾患、根尖歯周疾患を理解するために、基礎医学との関連を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯内療法学の基礎となる解剖、組織、病理学、細菌学を復習し、理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫） 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 3 免疫 ア 免疫系担当臓器・細胞 ウ 自然免疫 a 体液性免疫 b 細胞性免疫 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 オ 炎症 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。	*松島 潔
2019/07/19 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑭：歯内療法学の基礎医学	【授業の一般目標】 歯髄疾患、根尖歯周疾患を理解するために、基礎医学との関連を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯内療法学の基礎となる解剖、組織、病理学、細菌学を復習し、理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/19 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑭：歯内療法学の基礎医学	f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫） 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 3 免疫 ア 免疫系担当臓器・細胞 ウ 自然免疫 a 体液性免疫 b 細胞性免疫 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 オ 炎症 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。	*松島 潔
2019/08/30 (金) 3時限 13:10～14:40	歯内平常試験②：歯内講義⑧～⑭の範囲（記述式試験）	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑤～⑫の範囲 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記（記述式）試験 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室	*松島 潔
2019/08/30 (金) 4時限 14:50～16:20	歯内平常試験②：試験の解説講義	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑤～⑫の範囲 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記（記述式）試験 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室	*松島 潔
2019/09/18 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑮：歯内療法の基本概念と基本操作	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作できる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④根管洗浄の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/18 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑮: 歯内療法の基本概念と基本操作	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達
2019/09/18 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習①: 前準備、基本的概念(1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④歯内療法の基本的な器具操作ができる。 5. ⑤根管洗浄の基本的操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 滋 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 典功 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/09/18 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習①: 前準備、基本的概念(1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④歯内療法の基本的な器具操作ができる。 5. ⑤根管洗浄の基本的操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 滋 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 典功 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/09/25 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑯: 根管形成・洗浄、根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管形成・洗浄、根管充填を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①根管拡大、形成の目的を説明できる。 2. ②根管形成の術式を説明できる。 3. ③根管洗浄を説明できる。 4. ④根管充填の目的を説明できる。 5. ⑤根管充填の時期を説明できる。</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/25 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑩：根管形成・洗浄、根管充填	<p>6. ⑥根管充填法の種類を説明できる。 7. ⑦根管充填材(剤)について説明できる。 8. ⑧根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*岡部 達
2019/09/25 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習②：歯内療法の基本概念(2)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①根管形成の概念を説明できる。 2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲滋 *藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/09/25 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習②：歯内療法の基本概念(2)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①根管形成の概念を説明できる。 2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲滋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/25 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習②: 歯内療法の基本概念 (2)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	<p>* 齊藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 塩 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田塚 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中澤 敬 中嶋 弘貴 長島 真樹 中沼 潔 馬場 邦欣 久松 晃 福松 幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 本 芳弘 山 平和 浦 賀弘</p>
2019/10/02 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑦: 根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管充填を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①根管充填法の種類を説明できる。 2. ②種々の根管充填法による利点を説明できる。 3. ③根管充填材 (剤) を説明できる。 4. ④根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	* 神尾 直人
2019/10/02 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習③: 下顎小臼歯 (人工歯) の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。</p>	<p>* 松島 潔 * 辻本 恭久 * 川島 正 * 岡部 達 * 神尾 直人 * 吉田 陽子 * 鈴木 誠 * 葉山 朋美 * 深井 譲 * 深井 滋 * 齊藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/02 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習③:下顎 小臼歯(人工歯) の感染根管治療	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 田中 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬貴 中澤 弘真 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/10/02 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習③:下顎 小臼歯(人工歯) の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 田中 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬貴 中澤 弘真 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/10/09 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑧:歯内 療法の特殊療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、特殊な療法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①イオン導入法について説明できる。 2. ②顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 3. ③新しい歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p>	*辻本 恭久 三橋 純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/09 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑧：歯内療法の特殊療法	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。</p>	*辻本 恭久 三橋 純
2019/10/09 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習④：上下顎前歯（人工歯）の抜髄・根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯（人工歯）の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 直人 *神尾 陽子 *吉田 誠 *鈴木 朋美 *葉山 譲 *深井 梨紗 *齋藤 ひとみ *染谷 健 *和田 理裕 *石井 千佳代 *菅原 誠一郎 相浦 真人 伊澤 幾大 上田 英美 大林 英雄 喜話 博之 五味 藤一 齋藤 督彦 塩沢 俊多 高瀬 知香 高橋 みどり 田中 典功 塚田 秀朗 寺澤 敬 富田 弘貴 中澤 真樹 中嶋 潔 長島 邦欣 中馬 俊晃 沼場 弘幸 久松 涼子 福田 史規 細谷 孝司 三浦 芳弘 村上 平和 山浦 賀弘
2019/10/09 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習④：上下顎前歯（人工歯）の抜髄・根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯（人工歯）の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 直人 *神尾 陽子 *吉田 誠 *鈴木 朋美 *葉山 譲 *深井 梨紗 *齋藤 ひとみ *染谷 健 *和田 理裕 *石井 千佳代 *菅原 誠一郎 相浦 真人 伊澤 幾大 上田 英美 大林 英

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/09 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習④：上下顎前歯（人工歯）の抜髄・根管治療	<p>歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（L S）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田塚 みどり 田澤 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦 久松 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘</p>
2019/10/16 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑩：新しい歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、最新の歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①Ni-Tiファイルを用いた根管治療を説明できる。 2. ②Ni-Tiファイルの特徴を説明できる。 3. ③顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の流れを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ⑥歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	<p>*辻本 恭久 三橋 純</p>
2019/10/16 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑤：上下顎前歯（人工歯）の根管充填、細菌検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管形成後の形態を説明できる。 2. ②根管形成ができる。 3. ③マスターポイントの試適ができる。 4. ④根管充填ができる。 5. ⑤細菌検査の目的を説明できる。 6. ⑥細菌検査ができる。 7. ⑦細菌検査を評価できる。 8. ⑧根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（L S）】 実習</p>	<p>*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 讓滋 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田塚 みどり 田澤 典功 寺澤 秀朗</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/16 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑤: 上下顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌検査	<p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	富田 敬 中澤 弘 嶋 真樹 長島 潔 沼場 邦 中馬 欣 久松 晃 福田 幸 細谷 涼 三浦 史 村上 規 本 孝 山 芳 浦 弘 賀 弘
2019/10/16 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑤: 上下顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①根管形成後の形態を説明できる。 2. ②根管形成ができる。 3. ③マスターポイントの試適ができる。 4. ④根管充填ができる。 5. ⑤細菌検査の目的を説明できる。 6. ⑥細菌検査ができる。 7. ⑦細菌検査を評価できる。 8. ⑧根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	* 松島 潔 * 辻本 恭 * 川島 久 * 岡部 正 * 尾田 達 * 神尾 直 * 吉田 人 * 鈴木 陽 * 葉山 誠 * 深井 朋 * 藤井 美 * 藤谷 滋 * 染谷 梨 * 和田 紗 * 石井 ひと * 菅原 健 相浦 誠 伊澤 一郎 上田 真人 大林 幾 喜話 英 五味 美 齋藤 規 塩沢 博 高瀬 一 高橋 央 田中 彦 塚中 知 寺澤 多 富田 香 中澤 み 中嶋 どり 長島 功 沼場 典 中馬 秀 久松 朗 福田 敬 細谷 弘 三浦 真 村上 樹 山 潔 浦 邦 賀 欣 弘 晃 幸 幸 涼 幸 史 幸 規 幸 司 幸 芳 幸 弘 幸 賀 幸
2019/10/23 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑩: 外傷歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外傷歯に対する歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①受傷した歯の状態を説明できる。 2. ②受傷した歯に対する歯内療法の対応を説明できる。 3. ③歯根破折の原因と予防を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 外傷歯の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド</p>	* 川島 正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/23 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑩：外傷歯の歯内療法	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 i 外傷歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*川島 正
2019/10/23 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑥：単根歯 (天然歯) の感染根管治療・根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 詔規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 功 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 弘貴 中澤 弘樹 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/10/23 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑥：単根歯 (天然歯) の感染根管治療・根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/23 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑥: 単根歯(天然歯)の感染根管治療・根管充填	歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	上大林 幾大 大喜多 英規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 福田 弘幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平賀
2019/11/06 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内実習筆記試験 : 歯内療法学実習で学んだ事項	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法学実習で学んだ事項 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験(記述式) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室	* 松島 潔 * 辻本 恭久 * 川島 正達 * 岡部 直人 * 神尾 陽子 * 吉田 誠 * 鈴木 朋美 * 葉山 美滋 * 深井 譲 * 齋藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健裕 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英規 大喜多 博之 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 福田 弘幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平賀
2019/11/06 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑦: 実技試験	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室	* 松島 潔 * 辻本 恭久 * 川島 正達 * 岡部 直人 * 神尾 陽子 * 吉田 誠 * 鈴木 朋美 * 葉山 美滋 * 深井 譲 * 齋藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健裕 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英規 大喜多 博之 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/06 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑦：実技試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	田中 みどり 塚澤 典秀 寺澤 敬 富田 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/11/06 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑦：実技試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達人 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規之 五味 博 斎藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊知 高橋 多香 田中 みどり 塚澤 典秀 寺澤 敬 富田 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/11/13 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内平常試験③：歯内講義⑮～⑳の範囲（記述式試験）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内講義⑬～⑱の内容を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯内講義⑬の内容を説明できる。 2. 歯内講義⑭の内容を説明できる。 3. 歯内講義⑮の内容を説明できる。 4. 歯内講義⑯の内容を説明できる。 5. 歯内講義⑰の内容を説明できる。 6. 歯内講義⑱の内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑫～⑰の内容を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験（記述式）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p>	*松島 潔 *川島 正達 *岡部 達人 *神尾 直人
2019/11/13 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑧：歯髄保存療法とNiTiファイルによる根管形成	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達人 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/13 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑧：歯髄保存療法とNiTiファイルによる根管形成	<p>アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ウ 歯内療法用材料 b 仮封材、裏層材、覆髄材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	<p>上田 幾大 大林 英美 喜多 英規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘</p>
2019/11/13 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑧：歯髄保存療法とNiTiファイルによる根管形成	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ウ 歯内療法用材料 b 仮封材、裏層材、覆髄材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	<p>* 松島 潔 * 辻本 恭久 * 川島 正 * 岡部 達 * 神尾 直人 * 吉田 陽子 * 鈴木 誠 * 葉山 朋美 * 深井 譲 * 齊藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 英規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘</p>
2019/11/20 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑨：外科的歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外科的歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①外科的歯内療法の意義を説明できる。 2. ②外科的歯内療法の種類を説明できる。 3. ③外科的歯内療法の適応を説明できる。 4. ④外科的歯内療法を応用する理由を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯根、根管、歯周組織の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>* 川島 正</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/20 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義②：外科的歯内療法	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 g 外科的歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。</p>	*川島 正
2019/11/21 (木) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑨：上顎小臼歯の根管治療(1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 3. ③上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/11/21 (木) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑨：上顎小臼歯の根管治療(1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 3. ③上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p>	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/21 (木) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑨：上顎 小臼歯の根管治療 (1)	<p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 4 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	博之 一央 督彦 俊知 多香 高橋 中みどり 塚田 寺澤 富典 田功 中澤 寺敬 富弘 中嶋 島真 潔樹 邦欣 馬晃 久松 福弘 田涼 細子 三浦 村孝 上芳 本弘 山平 賀和 弘
2019/11/27 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑩：再根 管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、再根管治療に至る原因とその処置 法を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. ①再根管治療の適応を説明できる。 2. ②再根管治療に至る原因を説明できる。 3. ③再根管治療の問題点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 4 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*川島 正
2019/12/04 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑪：歯内 療法後の歯の修復	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法後の歯の修復を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. ①歯内療法後の修復の臨床的意義を説明できる。 2. ②歯内療法後の修復の臨床的特徴を説明できる。 3. ③歯内療法後の歯の機能回復の問題点を説明できる。 4. ④歯内療法後の歯の機能回復の注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/04 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑨: 歯内療法後の歯の修復	301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*岡部 達
2019/12/05 (木) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑩: 上顎小臼歯の根管治療(2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①上顎小臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲滋 *齊藤 梨紗 *齋藤 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博 齋藤 一央 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福細 涼史 細谷 規司 三浦 芳弘 村上 平和 本木 賀弘 山浦
2019/12/05 (木) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑩: 上顎小臼歯の根管治療(2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①上顎小臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲滋 *齊藤 梨紗 *齋藤 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博 齋藤 一央 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/05 (木) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑩：上顎 小白歯の根管治療 (2)	イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/12/11 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑭：歯内 療法における偶発 事故の予防と処置	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法中の偶発事故を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法時に起こりうる偶発症の種類を説明できる。 2. ②歯内療法時に起こりうる偶発症への対応を説明できる。 3. ③歯内療法時に起こりうる偶発症への防止法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 j 偶発症と安全対策 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*神尾 直人
2019/12/18 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑮：今ま でのまとめ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管の形態を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯種別の根管の形態を図示し、説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、 消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系） 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。	*松島 潔
2019/12/19 (木) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑪：上顎 大白歯の根管治療 (1)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎大白歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大白歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正達 *岡部 達 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲滋 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/19 (木) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑩：上顎 大白歯の根管治療 (1)	根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2019/12/19 (木) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑩：上顎 大白歯の根管治療 (1)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎大白歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大白歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのの窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	* 松島 潔 * 辻本 恭久 * 川島 正 * 岡部 達 * 神尾 直人 * 吉田 陽子 * 鈴木 誠 * 葉山 朋美 * 深井 譲 * 齋藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2020/01/15 (水) 1時限 09:00~10:30	歯内平常試験④： 歯内講義⑳～㉓の 範囲の筆記（記述 式）試験	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑳～㉓の範囲の筆記 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、筆記（記述式）試験 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室	* 松島 潔 * 川島 正 * 岡部 達 * 神尾 直人
2020/01/16 (木) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑩：上顎 大白歯の根管治療 (2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手法を修得する。	* 松島 潔 * 辻本 恭久 * 川島 正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯内実習⑫：上顎 大白歯の根管治療 (2)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上顎大白歯の根管充填ができる。 ②下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 ③下顎大白歯の根管口明示ができる。 ④下顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> 下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 <p>【学修方略 (LS)】</p> 実習 <p>【場所 (教室/実習室)】</p> 301教室、第4実習室 <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 <p>【コアカリキュラム】</p> E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*岡部 達直人 *神尾 陽子 *吉田 誠 *鈴木 朋美 *葉山 譲 *深井 滋 *藤井 梨紗 *齋藤 ひとみ *齊藤 健 *和田 理裕 *石井 千佳代 *菅原 誠一郎 相浦 真人 伊澤 幾人 上田 英美 大林 規雄 喜多 博之 多 諒 五 博之 味 一央 藤 督 斎 彦 塩 俊 沢 知多 高 香 橋 みどり 中 典功 田 秀朗 塚 敬 寺 弘貴 澤 真樹 富 真樹 田 潔 中 邦 嶋 欣 長 弘 島 幸 沼 涼子 場 史 久 規 松 孝 福 芳 細 弘 谷 平 三 和 浦 賀 上 平 本 弘 山 賀
2020/01/16 (木) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑫：上顎 大白歯の根管治療 (2)	<p>【授業の一般目標】</p> 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手技を修得する。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上顎大白歯の根管充填ができる。 ②下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 ③下顎大白歯の根管口明示ができる。 ④下顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> 下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 <p>【学修方略 (LS)】</p> 実習 <p>【場所 (教室/実習室)】</p> 301教室、第4実習室 <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 <p>【コアカリキュラム】</p> E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*松島 潔 *辻本 恭久 *川島 正 *岡部 達直人 *神尾 陽子 *吉田 誠 *鈴木 朋美 *葉山 譲 *深井 滋 *藤井 梨紗 *齋藤 ひとみ *齊藤 健 *和田 理裕 *石井 千佳代 *菅原 誠一郎 相浦 真人 伊澤 幾人 上田 英美 大林 規雄 喜多 博之 多 諒 五 博之 味 一央 藤 督 斎 彦 塩 俊 沢 知多 高 香 橋 みどり 中 典功 田 秀朗 塚 敬 寺 弘貴 澤 真樹 富 真樹 田 潔 中 邦 嶋 欣 長 弘 島 幸 沼 涼子 場 史 久 規 松 孝 福 芳 細 弘 谷 平 三 和 浦 賀 上 平 本 弘 山 賀
2020/01/23 (木)	歯内実習⑬：下顎	<p>【授業の一般目標】</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
4時限 14:50～16:20	大臼歯の根管治療 (1)	適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	* 辻川 恭久 * 本島 正達 * 岡部 直人 * 神尾 陽子 * 吉田 誠 * 鈴木 朋美 * 葉山 美滋 * 深井 滋紗 * 齊藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健裕 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬 中澤 弘 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦 馬場 欣 久松 俊 松久 幸 福田 涼 細谷 史 三浦 孝 村上 芳 本木 弘 山浦 平 賀弘
2020/01/29 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内実習⑭：下顎 大臼歯の根管治療 (2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	* 松島 潔 * 辻川 恭久 * 本島 正達 * 岡部 直人 * 神尾 陽子 * 吉田 誠 * 鈴木 朋美 * 葉山 美滋 * 深井 滋紗 * 齊藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健裕 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬 中澤 弘 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦 馬場 欣 久松 俊 松久 幸 福田 涼 細谷 史 三浦 孝 村上 芳 本木 弘 山浦 平 賀弘
2020/01/29 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内実習⑭：下顎 大臼歯の根管治療 (2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。	* 松島 潔 * 辻川 恭久 * 本島 正達 * 岡部 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/29 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内実習⑭: 下顎 大臼歯の根管治療 (2)	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然 歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	<p>尾田直人 * 吉田陽子 * 鈴木誠 * 葉山朋美 * 深井讓 * 齋藤梨紗 * 染谷ひとみ * 和田健 * 石井理裕 * 菅原千佳代 相浦誠一郎 伊澤真人 上田幾大 大林英美 大喜多規雄 五味博之 齋藤一央 塩沢督彦 高瀬俊香 高橋知多 田中みどり 塚田典功 寺澤秀朗 富田敬 中澤弘貴 中嶋真樹 長島潔 中沼邦欣 馬場俊晃 久松弘幸 福田涼子 細谷史規 三浦孝司 村上芳弘 本木平和 山浦賀弘</p>
2020/01/30 (木) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑮: 実習 実技試験	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ラバーダム防湿から根管充填までの一連の歯内療法の術式</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然 歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p>	<p>* 松島 潔 * 辻川 恭久 * 本島 正達 * 岡部 直人 * 神尾 直人 * 吉田 陽子 * 鈴木 誠 * 葉山 朋美 * 深井 讓 * 齋藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健 * 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規雄 五味 博之 齋藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘</p>
2020/01/30 (木) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑮: 実習 実技試験	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ラバーダム防湿から根管充填までの一連の歯内療法の術式</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然 歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 松島 潔 * 辻川 恭久 * 本島 正達 * 岡部 直人 * 神尾 直人 * 吉田 陽子 * 鈴木 誠 * 葉山 朋美 * 深井 讓 * 齋藤 梨紗 * 染谷 ひとみ * 和田 健</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/30 (木) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑮: 実習 実技試験	【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第4実習室	* 石井 理裕 * 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚中 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔邦 中馬 欣晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 本上 芳弘 山本 平和 浦賀